

# 十二月大歌舞伎

令和元年  
12月2日 月初日

↓ 26日 木 千鶴楽



夜の部 午後4時30分開演		昼の部 午前11時開演	
<p>一、<b>神霊矢口渡</b> 福内鬼外作 頼兵衛住家の場</p> <p>二、<b>本朝白雪姫譚話</b> グリム童話「白雪姫」より 竹柴潤一 脚本 坂東玉三郎 補綴 花柳壽應 演出・振付 ほんちょうしらゆきひめもの ほろり</p>	<p>一、<b>たぬき</b> 大佛次郎 演出 石川耕士 演出</p> <p>二、<b>村松風二人汐汲</b> ひらのまつ 小ぜに はん しおくみ 長鳴亭雪連中</p> <p>三、<b>壇浦兜軍記</b> だんのうら かつし ぐん 阿古屋</p>	<p>一、<b>保名</b> 清元連中</p> <p>二、<b>二人汐汲</b> 芝居屋名方 備後屋宗右衛門 女房おせき</p> <p>三、<b>阿古屋</b> 松村風雨 遊君阿古屋 秩父庄司重忠 岩永左衛門</p>	<p>一、<b>保名</b> 保名玉三郎</p> <p>二、<b>阿古屋</b> 遊君阿古屋 梅枝 (4・5・10・11・16・17・22・23) 遊君阿古屋 児太郎 (6・7・12・13・18・24・25) 岩永左衛門 九團次 秩父庄司重忠 彦三郎</p>
<p>前田剛 美術 平野茂 照明 内藤博司 効果 川瀬露秋 作曲 田中傳左衛門 作詞</p>	<p>幕</p>	<p>幕</p>	<p>幕</p>

夜の部		昼の部	
<p>「神霊矢口渡」 渡し守頼兵衛 娘お舟 梅枝 傾城うてな 児太郎 下男六蔵 萬太郎 新田義峯 坂東亀蔵</p> <p>「白雪姫」 白雪姫 玉三郎 鏡の精 梅枝 野分の前 児太郎 輝陽の皇子 歌女之丞 浦風の局 歌女之丞 従者晴之進 歌女之丞 家臣郷村新吾 歌女之丞</p>	<p>「保名」 保名玉三郎</p> <p>「阿古屋」 遊君阿古屋 梅枝 (4・5・10・11・16・17・22・23) 遊君阿古屋 児太郎 (6・7・12・13・18・24・25) 岩永左衛門 九團次 秩父庄司重忠 彦三郎</p>	<p>「二人汐汲」 阿古屋 梅枝 松村風雨 太郎 遊君阿古屋 玉三郎 秩父庄司重忠 彦三郎 岩永左衛門 松緑郎</p>	<p>「たぬき」 柏屋金兵衛 中車 妾お染 児太郎 太鼓持蝶作 彦三郎 狭山三五郎 坂東亀蔵 隠亡平助 萬太郎 芸者お胸 笑也 松村屋才助 松枝 門木屋新三郎 桂三郎 隠亡多吉 市蔵 齊藤入蔵 江三郎 門家齊市蔵 也郎 之助 橋入蔵</p>

11月12日《火》10:00より電話予約・Web受付開始

チケットホン松竹 (10:00~18:00) ナビダイヤル ☎0570-000-489 または 03-6745-0888

※窓口販売・お引取りは、11月14日(木)午前10時より ※窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

お電話番号のおかけ間違いには充分ご注意ください。

チケットWeb松竹 (24時間受付、発売初日は10:00から) 検索

※チケットWeb松竹のお問合わせ 03-3545-2200(10:00~18:00)

**歌舞伎座**

〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15  
東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅3番出口  
▶歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人(かぶきびと)」  
http://www.kabuki-bito.jp  
▶松竹ホームページ http://www.shochiku.co.jp



# 令和元年を締め括る 豪華な配役と多彩な演目

昼の部 (午前11時開演)

夜の部 (午後4時30分開演)

## 【たぬき】(A・Bプロ) ユーモアあふれる人情喜劇

深川の火葬場では、放蕩三昧の末に急死した柏屋金兵衛の葬式が営まれています。ところが日も暮れた頃、金兵衛は再び息を吹き返します。肩身の狭い婿養子の暮らしに辟易していた金兵衛。これを幸いにこのまま自分は死んだことにして、女房おせきのもとへは戻らず、妾のお染と生きようと考えますが…。

人間の心の表と裏を描いた、可笑しさと切なさが巧みに混じり合う喜劇の傑作をお楽しみください。

## 【二人汐波】(Aプロ) かつての恋を偲む、切ない舞踊

在原行平が須磨へ流された際、深く契りを交わした海女の松風と村雨の姉妹。行平が形見として残した烏帽子と狩衣を身に纏い、姉妹はその面影を偲び舞い踊ります。

謡曲「松風」を素材にした歌舞伎舞踊「汐波」。踊り手を二人にする趣向で、清新な顔合わせにてご覧いただけます。

## 【保名】(Bプロ) 恋人の面影を追い、春の野をさまよう

桜と菜の花に彩られた春。野辺をさまよい歩くのは、恋人が自害したことを嘆き、正気を失った保名。亡き恋人の姿を追い求めますが、現実には引き戻され、形見の小袖を狂おしく抱きしめて悲しみにくれるのでした。

愛する人を失った悲しみを、清元の名曲に乗せて表現する人氣舞踊をご堪能ください。

## 【阿古屋】(A・Bプロ) 愛する人を想い奏でる、麗しき音色

平家滅亡後、平家の武将七兵衛景清の行方を詮議するため、問注所に引き出された景清の愛人、遊君阿古屋。景清の所在を知らないという阿古屋に対し、岩永左衛門は拷問にかけようと主張しますが、詮議の指揮を執る重忠はこれを制します。重忠が阿古屋の心の内を推し量るために用意させたのは、琴、三味線、胡弓。言葉に偽りがあれば音色が乱れるはずだと、三曲の演奏を命じられた阿古屋は…。

実際に楽器を奏でながら心情を細やかに表現しなければならぬ阿古屋は、女方屈指の大役。絢爛豪華な義太夫狂言の名作を、日替わりの配役でご覧いただけます。

## 【神霊矢口渡】 極悪非道の父に立ち向かう娘の恋心

六郷川の矢口の渡し。渡し守の頓兵衛は、足利と新田の争いで褒美の金欲しさに足利方の手先となり、新田義興の溺死に加担した強欲者。ここへ、義興の弟義峯が恋人である傾城うてなと訪れ、偶然にも頓兵衛の家に一夜の宿を乞います。頓兵衛の娘お舟は、気品あふれる義峯にひと目惚れ。義峯に恋心を明かします。一方、義峯の素性を知った頓兵衛は、再び金目当てに、その命を狙いますが…。

江戸時代に多分野で活躍した才人・平賀源内が「福内鬼外」のペンネームで描いた浄瑠璃の傑作。父頓兵衛の強欲非道ぶりが、娘お舟の悲恋を一層際立たせます。

## 【本朝白雪姫譚話】 歌舞伎の美を纏う「白雪姫」

その昔、とある名家の奥方である野分の前が、大層可愛らしい赤子を授かりました。白雪姫の誕生を喜びますが、母親である野分の前だけはつれない様子。白雪姫が美しくなるにつれ、自分の美しさが衰えていくのではないか疑心暗鬼になっていたのです。宥める局たちの言葉にも耳を貸そうとしない野分の前が、何気なく奥殿の鏡に問いかけると、鏡の精が現れてその美しさを讃えます。これに気を良くした野分の前は、いつまでも鏡に自分の美しさを尋ねるのでした。

十数年後、白雪姫はさらに美しい姫に成長しています。野分の前の不安は大きくなり、ついに鏡の精も白雪姫の方が美しくなったことを認めます。野分の前は白雪姫をやり込めようと琴の弾きくらべを行います…。

家臣の郷村新吾は、いよいよ白雪姫をなきものにしようとする野分の前の命を受け、白雪姫を山中に連れ出します。姫を手にかげようとしたその時、新吾はそのあまりの美しさに心を打たれ…。

『本朝白雪姫譚話』は、世界的に親しまれるグリム童話「白雪姫」を題材にした新作歌舞伎です。美しい白雪姫、その美しさを妬む母親、鏡の精や小人たちなど、原作に登場するモチーフを大胆に歌舞伎の世界に取り入れて展開する、新しい白雪姫の物語にご期待ください。

(令和元年十二月)

※昼の部は、Aプロ・Bプロがございます。日程により演目の一部と、配役が異なりますのでご注意ください。

12月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
昼の部	A	A	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	A

Aプロ：一、たぬき 二、村松風 二人汐波 三、阿古屋(遊君阿古屋-玉三郎 岩永左衛門-松 緑)  
 Bプロ：一、たぬき 二、保名 三、阿古屋(遊君阿古屋-梅 枝◇ 岩永左衛門-九團次)  
 一、たぬき 二、保名 三、阿古屋(遊君阿古屋-児太郎◆ 岩永左衛門-九團次)

## 場内サービスのご案内

- ◎ご観劇に関するお問い合わせは 歌舞伎座 TEL.03-3545-6800(代表)
- ◎切符売場は歌舞伎座地下2階木挽町広場にごございます。営業時間は午前10時～午後6時までとなります。
- ◎切符預かり所 ご入場券のお預けは劇場正面向って右側の窓口でお受け致します。
- ◎お食事のご予約とお問い合わせは \*ご予約は2日前まで承っております。お食事処予約：歌舞伎座サービス TEL 03-3545-6820(10:00~17:00) 折詰のお問い合わせ：お弁当処やぐら TEL 03-3545-6576(10:00~18:00)

- ◎ご観劇のお供に、イヤホンガイドと字幕ガイドがございます。
- イヤホンガイド ご使用料 700円(一巻見席でのご利用は 500円)※保証金は1台につき1,000円です。
- 字幕ガイド ご使用料 日本語版/英語版 1台 1,000円
- (ご利用時に携帯電話番号、または松竹歌舞伎座会員番号をご登録いただくか、身分証のご提示を願います。英語版の字幕ガイドをご利用時には、携帯電話番号をご登録いただくか、代わりにIDカードをお預かりさせていただきます)
- \*一幕見席でのご利用は ご使用料 日本語版/英語版 1台500円 保証金は1台につき1,000円です。
- お問い合わせ：株式会社イヤホンガイド TEL 03-3546-0265

歌舞伎座 イベント託児サービスのご案内

ご予約、お問い合わせ先

●株式会社マザーズ (イベント託児サービス委託会社)  
 ●マザーズ・フリーコール 0120-788-222 (平日 10:00~12:00/13:00~17:00)

■実施日 昼の部 11日(水) 24日(火)  
 夜の部 6日(金) 19日(木) 21日(土)

歌舞伎座ギャラリー (歌舞伎座タワー5階)

体験空間 歌舞伎にタッチ たつき

—しる・みる・ふれる・やってみる—

好評開催中 かふきにゃんたろう

●開館時間=10:00-17:30 [最終入館17:00]  
 ※イベント開催などの為、休館や開館時間変更場合があります。

●通常入場料金=600円  
 ●特別入場料金=1,000円(イヤホンガイドコース)  
 ●切符取扱=歌舞伎座ギャラリー前 切符売場 (歌舞伎座タワー5F)

●当日の歌舞伎座観劇券(当日見券)ご提示で 600円→500円

東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー5F お問い合わせ:TEL.03-3545-6886